

F.P.JOURNE  
Invenit et Fecit

オーナーズマニュアル Octa UTC  
独自の機構に基づいて設計されたデザイン



はじめに

## オクタ・キャリバー 理想のムーブメント

この「オクタ・コレクション」の腕時計に組み込まれている自動巻きムーブメントの構造は、他のF.P.ジュルヌの時計に比べれば時計史との関連は大きくありません。しかし、このムーブメントの中には腕時計に可能な限りの高い精度と長い作動時間をもたらす、という理想を追求するためのアイデアが詰め込まれています。

時計を長期間作動させるためには動力得るための重りを吊るす紐の長さが必要です。しかし容積が小さい腕時計の場合、紐に相当する長いゼンマイを取めることは物理的に不可能です。そこでかつて時計師たちはある秘策を思いつきました。それは通常の輪列に更に歯車を追加して、主ゼンマイが解けるまでの時間を長引かせようとするものです。

残念ながら実際にこの方法を試した場合、より強力な主ゼンマイを用いたとしてもテンプに伝わるエネルギーが小さくなってしまったことがわかりました。その問題を解消するために、時計師たちはエネルギー消費の少ない小型のテンプを用いましたが、今度は安定性が大幅に失われてしまうこととなりました。

長時間作動する時計への挑戦、という困難な命題への挑戦は私の意欲を大いに高めました。当初、私は作動時間を延ばすためには主ゼンマイの解ける力をより強くするのが最も明快な解決方法であろうと考えていました。しかし長さが1メートル、厚さ1ミリもある分厚い主ゼンマイではサイズの問題でムーブメントの中に取めることはできません。そこで私は新たに長く、しかし薄くしなやかな主ゼンマイを採用し低いトルクを補うために優れた効率の自動巻き上げ機構を考案して組み合わせました。

同時に私は、同じサイズ内に各種の複雑機構を組み込むことを考えました。「オクタ・コレクション」には、パワーリザーブ・インジケーターと大型日付表示を組み合わせたモデルなど様々な機構を持つモデルが存在しますが、どのモデルも同一のサイズを保っています。自らの理想を実現した、この世界で唯一の自動巻きムーブメントが完成するまでには、研究と開発に3年の歳月が費やされました。

フランソワ・ポワール・ジュルヌ



### Octa UTC

オクタ・コレクション待望のワールドタイム

イギリス海軍は19世初頭よりロンドン郊外にある王立グリニッジ天文台を通る経線を経度0度として決めました。これを元にしたGMT (Greenwich Mean Time) - グリニッジ標準時) は、1847年に英国下院議会にて決定され、1880年に正式に標準時として採用されました。以後1972年にUTC (Coordinated Universal Time): 協定世界時)が制定されるまでは標準世界時とされていました。

時計業界の慣習として二つのタイムゾーンを示すための時計にはGMTという表記がしばしば採用されます。しかし、GMTは地球の公転に基づいた標準時であり、UTCは国際原子時を基準にしているため厳密にいうと2つの時間測定単位は同一ではありません。2011年現在、一般にはUTCを標準時の基準として採用しています。

F.P.ジュルヌは地球上の様々な位置によって異なる時間を表示するための新たな機構を備えた「オクタ・UTC」を開発した事により、さらなる革新を手に入れ、その発明は特許を取得しました。正距方位図と夏時間、冬時間とを組み合わせることで、より直感的に世界の時差を確認できるシステムを実現したのです。

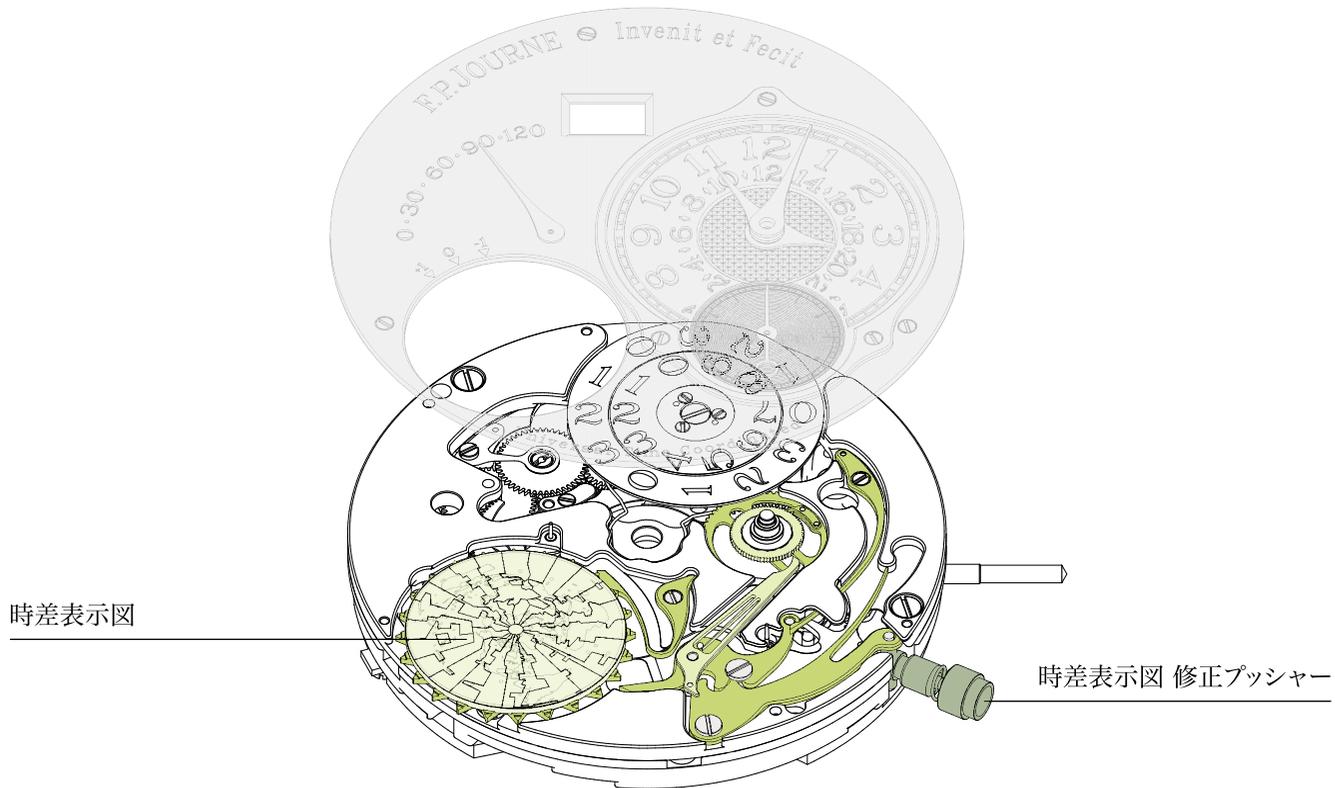
ブルースチールの針が示す12時間のダイヤルは大型日付表示と連動し、18Kローズゴールド製の針が指し示す24時間計は7時半位置のワールドタイム機能と連動して運針を行います。

#### オクタ・キャリバー 最適化された巻き上げ機構

自らが製作した時計について常に観察を怠らないフランソワ・ポール・ジュルヌは以下のように述べました。「ある日、友人が身に着けているオクタのパワーリザーブ表示が杯に巻き上がらないことに気がつきました。彼は常にコンピューターの前で仕事をしているため、ゼンマイを一杯に巻き上げるだけの十分な動きをしていなかったのです。」

この結果から、少ない腕の動きでもゼンマイを巻き上げることの可能な新しいオクタ・キャリバー（1300.3）を開発することになったのです。そして問題を解決するために、最初のオクタ・キャリバーとは対照的なボールベアリング・システムを組み込んだローターを備えた片方向巻き上げ機構を開発しました。セラミック製ボールベアリングを組み込んだ巻き上げ機構は、ローターが一方方向に回転した場合のみゼンマイを巻き上げます。反対方向へ回転した場合にはゼンマイの巻き上げは行われません。ローターは腕時計を装着している人のあらゆるわずかな動きも巻き上げの動力として、最大限に利用することができます。新しいキャリバーは、同時に従来のオクタの特徴をも備えています。5日間（120時間）のパワーリザーブと最高の効率、申し分のない安定性を兼ね備えた優れた脱進調速装置はオクタ・コレクションに共通する特長です。オクタ・コレクションは、あらゆるライフスタイルに対応するために考案されました。

オクタUTCのメカニズム  
EP特許権を有するシステム



## 機能

### リュース

ポジション0時計回り  
時計の巻き上げ

ポジション1A時計回り  
タイムゾーンと24時間針  
(ゴールド製)の変更

ポジション1B反時計回り  
日付の変更

ポジション2反時計回り  
現在地の標準時の変更  
(ブルースチールの針)

#### 注意

時計を使用する場合には、  
リュースを必ずポジション0  
に戻して使用して下さい。

### 修正プッシャー

地図の変更

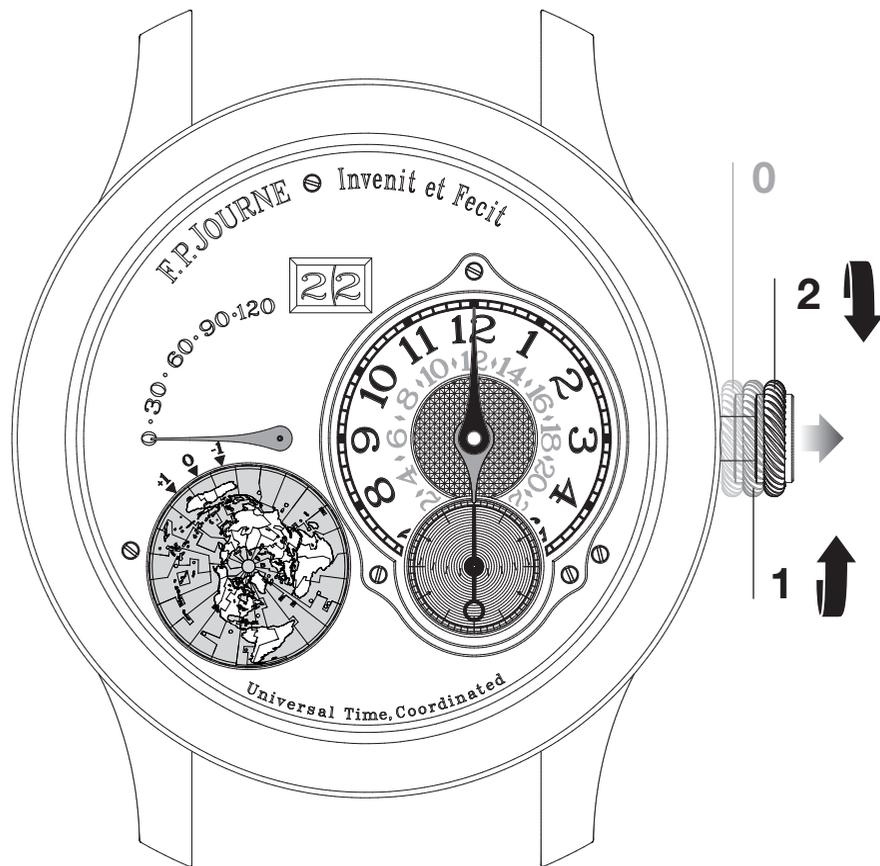
プッシャーを一回押す度に、正距方位図  
のタイムゾーンが前に一つ進みます。



## 最初の設定

ポジション**2**のリューズを反時計回りに回転させながらブルースチールの時分針を午前**0**時に合わせます（日付変更）。

リューズをポジション**1**に押し戻し、時計回りに回転させながらゴールド製の24時間針も午前**0**時に合わせます。



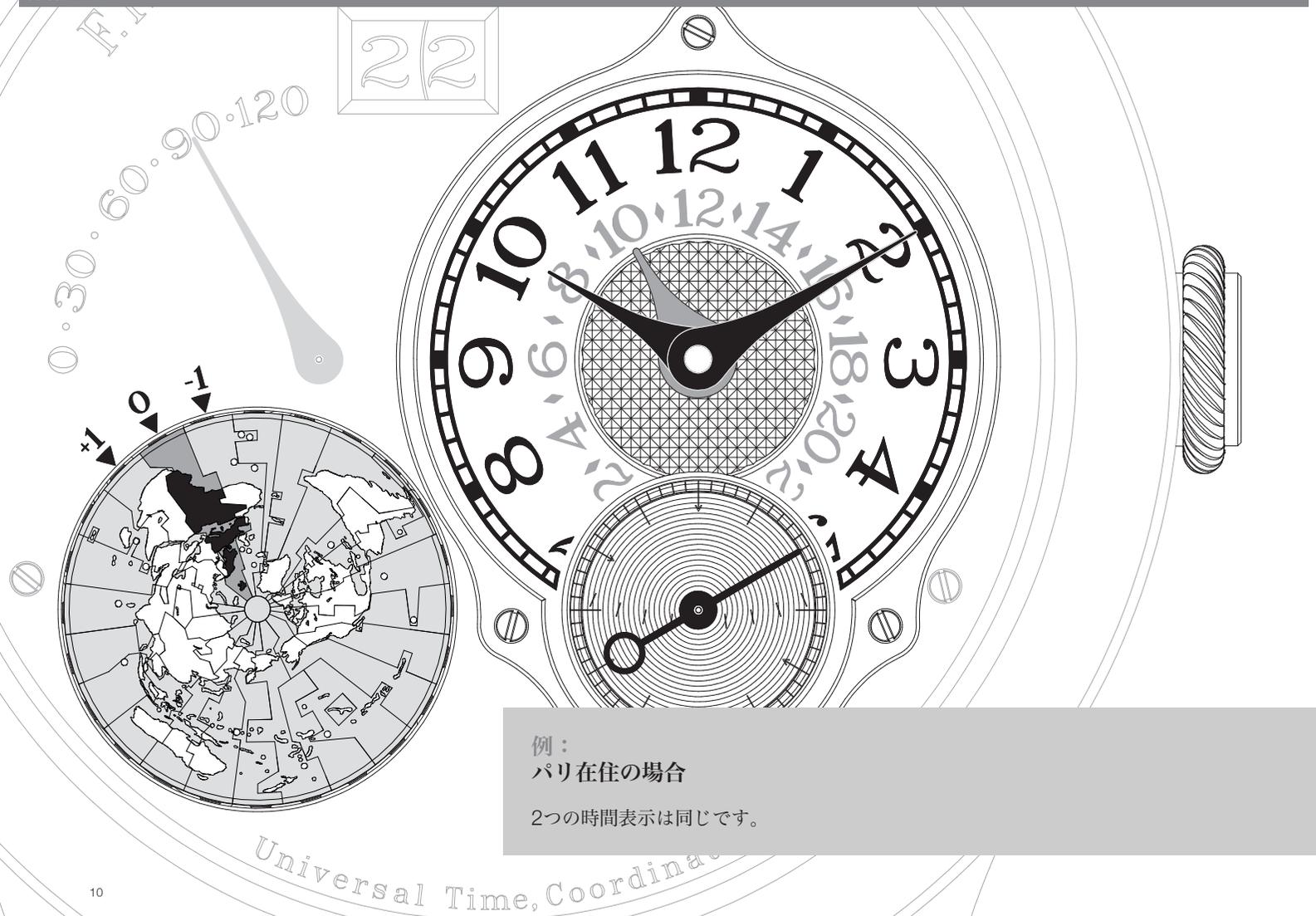
## 最初の設定

### 4時位置のプッシャー：

プッシャーを付属のツールで必要な回数を押して、  
現在地のタイムゾーンを0に合わせます。

イラストではジュネーヴの時刻を表示しています。





例：  
パリ在住の場合  
2つの時間表示は同じです。



例：  
東京に旅行する場合

夏時間の期間以外は計算の必要はありません。  
リューズを引いてポジション**1**にし、時計回りに回転させて日本の  
タイムゾーンを0に合わせると自動的に時間が表示されます。

## 操作方法

### 夏時間を使用する主な国々

#### 北半球：

アルバニア、ドイツ、アンドラ、アルメニア、オーストリア、アゼルバイジャン、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、ブルガリア、カナダ、キプロス、クロアチア、デンマーク、エジプト、スペイン、エストニア、米国、フィンランド、フランス、グルジア、ギリシャ、ハンガリー、イラク、アイルランド、イスラエル、イタリア、ヨルダン、コソボ、ラトヴィア、レバノン、リヒテンシュタイン、リトアニア共和国、ルクセンブルグ、マケドニア、マルタ、モロッコ、メキシコ、モルドヴァ共和国、モナコ、モンゴル、モンテネグロ、ノルウェー、パレスチナ、オランダ、ポーランド、ポルトガル、チェコ共和国、ルーマニア、イギリス、ロシア、サンマリノ、セルビア、スロバキア、スロベニア、スウェーデン、スイス、シリア、チュニジア、トルコ、ウクライナ

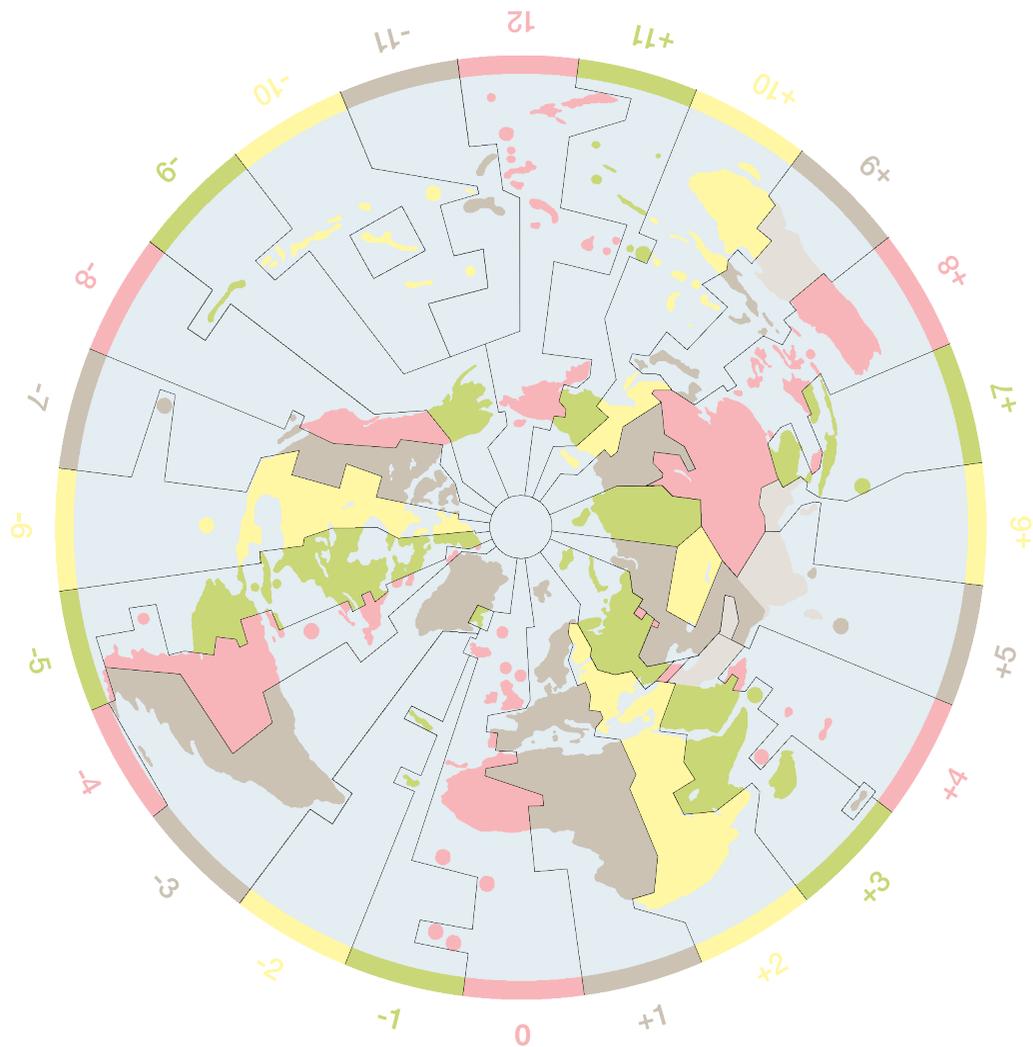
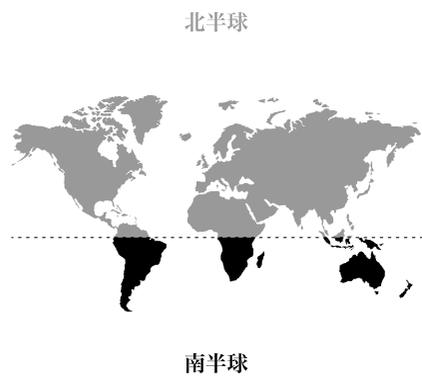
夏時間は3月の第2日曜日の午前2時から11月の第1日曜日迄での期間。+1時間。

#### 南半球：

オーストラリア、ブラジル、チリ、ナミビア、ニュージーランド、パラグアイ、ウルグアイ

南半球でも夏時間を採用している国はありますが、北半球と比べて季節が反対になるために時期は様々で、9月の第1日曜日から4月の第1日曜日の間になります。+1時間。

協定世界時

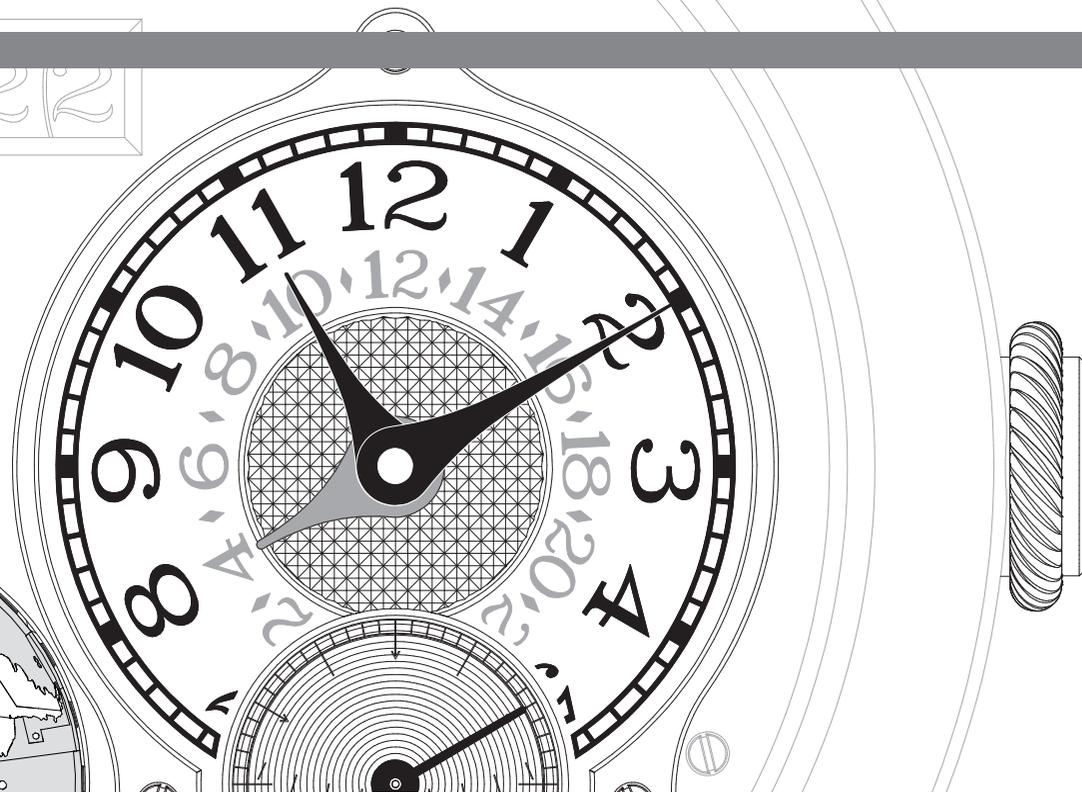




例：  
夏時間への変更

パリ在住の場合、東京と比べて-8時間の時差があります。パリが夏時間になると、日本には夏時間がないので、東京と比べた時差は-7時間になります。日本のタイムゾーンの位置を+1にすると、自動的に時間が表示されます。

$$-8 + 1 = -7$$



例：  
夏時間への変更

東京在住の場合、パリ時間と比べて+8時間の時差があります。パリが夏時間になると、東京はパリに比べて+7時間となります。フランスのタイムゾーンを-1にすると、自動的に時間が表示されます。

$$+8 - 1 = +7$$

## 仕様

ムーブメント	キャリバー1300.3 片方向巻上げ式自動巻き 18Kローズゴールド製ムーブメント
ムーブメントのサイズ	ムーブメント直径： 30.80 mm ケーシングした状態での直径： 30.40 mm 全高： 5.70 mm 巻真までの高さ： 3.00 mm 巻真のネジ部分の直径： S0.90 mm
バランスホイール	4つのイナーシャウェイト アナクロン・フリースプラング・フラットヘアスプリング 可動ヒゲ持ち ヘアスプリングはヒゲ玉ヘレーザーにて固定 ヘアスプリングはヒゲ持ちヘピンによって固定 スリッピングアタッチメント付き香箱 振動数： 21'600 v/h, (3Hz) 質量： 10.10 mg*cm <sup>2</sup> 拘束角： 52° 振り角： 文字盤上 全巻上げ：> 300° 文字盤上 24時間後：> 280°
主な特性	3段階式巻真 ポジション0：リュースを時計回りに回転させて巻き上げ ポジション1：リュースを時計回りに回転させて24時間タイムゾーンを変更 リュースを反時計回りに回転させて日付変更 ポジション2：リュースを反時計回りに回転させて時間調整 ジャンプ式カレンダー 4時位置のプッシャーにてタイムゾーンの設定

脱進機	レバー脱進機 15枚の歯を持つガンギ車
表示	時分針と24時間針はオフセンター配置 7時半位置に配置された時差表示窓-夏時間・冬時間表示 4時半位置に配置された秒針 大型日付表示 9時位置に配置されたパワーリザーブ・インジケーター
持続時間	120時間 ± 12時間 巻き上げ速度：24時間/274回転（反時計回り）
装飾	コート・ド・ジュネーブ仕上げを施したブリッジ ペルラージュ仕上げを施したベースプレート ネジは面取り、及び研磨仕上げ ブリッジの位置を決めるためのピンは研磨仕上げ 歯車は面取り、及び筋目仕上げ
ケース	プラチナもしくは18Kローズゴールド製 直径：40 mm 全高：10.6 mm
部品点数	石数：40 ムーブメント（文字盤含まず）：301 総部品点数（ケース、ストラップ込）：342

## メンテナンス

より良い状態でご使用いただく為、4年毎のオーバーホールをお薦め致します。

## 保証書

保証書の原本は大切に保管して頂けますようお願いいたします。いかなるアフターサービスのご提供に際しましても、ご提示をお願いしております。また、アフターセールスサービスはF.P.ジュルヌブティック並びに正規代理店でのみ受け付けております。

## 保証

お客様のF.P.Journe “Invenit et Fecit”の時計は保証書の裏に明記された購入日から2年間、いかなる製造上の欠陥に対しても保証されます。保証書はF.P.ジュルヌブティック並びに正規代理店においてすべての必要事項（シリアルナンバー、購入日、販売店の店印）が記入されている場合に限り有効です。この保証は腕に装着している場合でも不適切な使用、事故・災害、改造といったことによって受けたダメージについては適用されません。

### 保証期間の延長

お客様のF.P.Journe “Invenit et Fecit”の時計はF.P.Journeブティックで購入された場合、保証カードまたは証明書の裏面に表示された購入日から3年間自動的に保証されます。また正規代理店からご購入の場合は、ご購入頂いた日から30日以内に<https://customerservice.fpjourne.com/en/guarantee>のサイトから必要事項を記載して登録を行って頂く事で保証期間が1年間延長になります。